

## 建設経済環境委員会 行政視察報告書

日時:平成 26 年 8 月 5 日(火) 視察先:富山市

### 【LRT等の公共交通を核としたコンパクトシティについて】

従来のJRの富山港線の再利用として路面電車化し、中心市街地の路面電車の環状線と連携しながら環境負荷の少ないコンパクトシティを進めているが、中心市街地一極集中でない「串型」であり、その軸となる幹線公共交通の整備を進めている。



富山市は過度な自動車依存で、路線バスは 20 年間で 70%も落ち込んでいた為、イメージアップ、広告バス停やバスライドの整備に力を入れているが、市の負担は本市に比べ 4 倍強の 3 億 1 千万となっている



地域自主運行バスの運行において、地域世帯協賛金として、400 円/年 1 世帯を市の強制ではなく地域住民から決めたが、本市でも活かしていけないかと考える。

### 【自転車市民共同利用システム(アヴィレ)について】

ヨーロッパで普及し、環境にやさしい交通サービスとして関心がある事業だが、市長がバルセロナで視察し始められた。貸出ステーション 17 か所、150 台の専用自転車を設置し、低価格でいつでも気軽にどのステーションからも乗り降り可能としている。市が初期投資として施設整備費に対し全額補助(1 億 5 千万円)し、民間が運営及び施設維持管理をしている。



本市では、中心市街地と市役所・蓮華寺池公園等を結ぶ手段として、旧軽便鉄道の歩行者自転車専用道路の利活用を視野に入れるなか、検討したらよいのではないかと考える。

日時:平成 26 年 8 月 6 日(水) 視察先:金沢市

### 【金沢市西部環境エネルギーセンターの取り組みについて】

～ 建設の経緯・周辺環境との調和・公害防止策・余熱利用・環境教育施設～

既存施設の老朽化に伴い運営管理で培った信頼関係を元に、同敷地内に立替可能用地が確保できていたことや、地域住民との合意形成が(冬季の除雪作業等)されて建設に至った。

環境学習への取り組みや廃熱蒸気を利用して、約 9 億円相当の発電をし、その内 6 億円を売電している。(25 年度・北電 14～15 円/kw、26 年度・特定電力会社 20 円/kw)

それ以外の電力は、当施設及び温水プール、体育館で利用。また、悪臭を防ぐ為に、設計時にIN圧を取り入れ空気が室内に流入しない工夫もされており、CO2対策など、環境にやさしい施設でもある。

最終処分場が確保されていることが、ストーカー方式を選択できたと考えるが、当市においては最終処分場が担保されていない現状では、震災ゴミの焼却等を考えると熔融方式も検討する必要があるのではないかと考える。

なお、家庭用ごみは無料だが、事業用ごみは事業者負担を条例化している。(手数料 8,000 円/t、事業者ごみ量 51,000t)

